

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

第6次総合振興計画				款	6	商工費	課・係名		
基本目標		農を基軸とした交流の村づくり	施策	商工業の振興と新しい産業の創出		項	1 商工費	産業課	
				目	2 商工振興費	商工観光係			
事業通番	事業名	商工振興事業	予算額			決算額			
161201			当初予算額	増減額	予算現額				
	事業目的	中小企業の経営安定及び創業意欲のある者を支援し地域産業の活性化を図る。	事業費	21,138	3,164	24,302	事業費	24,296	
			財源内訳	国庫支出金	0		財源内訳	国庫支出金	
				県支出金	0			県支出金	
				地方債	0			地方債	
				その他	0			その他	
				一般財源	21,138	3,164	24,302	一般財源	24,296
事業の内容及び成果・今後の課題									
■ 事業内容及び成果									
内容	事業費(円)	説明・成果							
木島平村商工会補助金	2,800,000	・ 商工業者の窓口である商工会の体制強化のための補助							
創業支援補助 (3件)	2,788,000	・ 観光サービス業(サイクルツアーガイド)1,000,000円、翻訳通訳業1,000,000円、その他サービス業 (特産品開発)788,000円							
木島平村中小企業退職金共済掛金補助 (5件)	62,700	・ (株)瑞穂木材 9,000円 ・ 木島平観光(株) 1,800円 ・ (株)相生電子 33,000円 ・ 木島平村社会福祉協議会 16,500円 ・ 森宮運輸(株) 2,400円							
各種団体への負担金・補助金	178,083	・ 飯水岳北勤労者共済会負担金 44,525円 ・ きたしなの職業安定協会負担金 4,030円 ・ 職業安定対策負担金 119,528円 ・ 企業内人権教育推進協議会補助金 10,000円							

村中小企業振興資金金融機関預託金	16,400,000	・ 八十二銀行10,000,000円、長野県信用組合3,100,000円、長野信用金庫 1,800,000円、ながの農協1,500,000円
信用保証協会補給金	2,067,204	・ 利用件数6件（県制度融資額 149,380,000円、保証料村負担額 2,067,204円）
合計	24,295,987	

■課題及び今後の取組

創業支援については3件の実績があった。今後も引き続き創業支援を行っていく。創業後は商工会への入会を促し、商工会と連携し、創業向けセミナーの案内及び支援金の紹介など、国・県制度に対する細やかで素早い情報提供に努めたい。

指標	目的達成に向けた具体的な取り組み	単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察
	創業支援補助金	件	1	3	300%	B	創業支援補助金については、年々相談件数が増えてきていることから、引き続き創業者支援に努めるとともに、開業率向上と地域の活性化、雇用の確保を図る。
中小企業退職金共済掛金補助	件	5	5	100%			
				#DIV/0!			

評価委員評価

公共性	B	総合評価 (妥当性)	B	
公平性	B			
有効性	B			
効率性	B			

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

第6次総合振興計画				款	6 商工費	課・係名		
基本目標		農を基軸とした交流の村づくり	施策	滞在型観光の推進	項	1 商工費	産業課	
					目	2 商工振興費	商工観光係	
事業通番	事業名	地方創生・山岳観光事業			予算額			決算額
38681					当初予算額	増減額	予算現額	
事業目的	グリーンシーズンにおける誘客強化を図るため、新たな観光メニューの造成とイベント実施団体等への支援を行う。	事業費	2,244	▲ 612	1,632	事業費	1,462	
		財源内訳	国庫支出金		0	0	財源内訳	国庫支出金
		県支出金		0	0	0	県支出金	
		地方債		0	0	0	地方債	
		その他		300	0	0	その他	300
		一般財源	2,244	▲ 912	1,632	一般財源	1,162	
事業の内容及び成果・今後の課題								
■ 事業内容及び成果								
内容		事業費（円）	説明・成果					
秘境秋山郷・カヤの平高原の旅SNS広告事業		324,500	山岳高原観光事業として、カヤの平高原・秋山郷シャトル便の運行にあたり、村内ツアー商品の紹介及びカヤの平高原の魅力発信をSNS（Instagram・Facebook）で広くPRし誘客に努めた。 実施期間：6月1日～10月31日 実績：6月(169,786回) 7月(274,317回) 8月(215,792回) 9月(246,511回) 10月(227,644回)					
秘境秋山郷・カヤの平高原の旅運行経費		187,810	・バス運行委託料（137,810円：株森宮交通へ：運行経費 - 売上の差額を栄村と折半） ・バスツアー広報業務委託料（50,000円：いいやま観光局へ） 【実績】9コース8本運行 延べ31人利用					
山岳観光事業負担金		950,000	・たかやしろトレイルランニングレース負担金 350,000円 ・千曲川・高社山SEA TO SUMMIT2022負担金 600,000円					
合計		1,137,810						
■ 課題及び今後の取組								
平成28年から事業を開始しているが、コロナ禍により運行形態をマイクロバスからジャンボタクシーに代えて運行しているため、思うような集客が得られていない。定期的な情報発信を行い運行業者の商品（黒字化）になる事業としたい。								

指標	目的達成に向けた具体的な取り組み					単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察
	秘境秋山郷・カヤの平高原の旅運行経費の黒字化					件	1	0	0%	C	SNSによる定期的な情報発信に努めたが、コロナの影響もあり、多くの集客には繋がらなかった。アフターコロナに向けて今後も継続しながら定着化をさせていきたい。
	千曲川・高社山SEA TO SUMMIT参加者					人	300	228	76%		
	高社山を活用したイベント参加者					人	-	400	#VALUE!		
評価委員評価											
公共性	C	総合評価 (妥当性)	C	SEA TO SUMMITは参加者が増えていない カヤの平・秋山郷秘境ツアーは、もっとPRをすべきでは 継続事業実績の検証と改善の検討必要							
公平性	C										
有効性	C										
効率性	C										

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

第6次総合振興計画				款	6 商工費		課・係名		
基本目標		農を基軸とした交流の村づくり	施策	滞在型観光の推進		項	1 商工費		産業課 商工観光係
			目	2 商工振興費					
事業通番	事業名	地方創生・広域連携事業		予算額			決算額		
39230				当初予算額	増減額	予算現額			
	事業目的	広域観光事業の推進による旅行者の拡大を図る。近年脚光を浴びている自転車を活用した事業を広域で連携して推進することにより、エリア全体の魅力を高めることを目的とする。		事業費	304	0	304	事業費	304
				財源内訳				財源内訳	
				国庫支出金	152	0	152	国庫支出金	152
				県支出金		0	0	県支出金	
				地方債		0	0	地方債	
				その他		0	0	その他	
				一般財源	152	0	152	一般財源	152
事業の内容及び成果・今後の課題									
■事業内容及び成果									
内容		事業費（円）	説明・成果						
信越9市町村広域連携会議負担金		304,000	広域旅行造成・販売、WEBコンテンツ等情報発信、JET信越自然郷の推進、E-bike、サイクルステーション等交通基盤整備、イベント出展、TV出演等プロモーション						
合計		304,000							
■課題及び今後の取組									
信越9市町村内でEバイクの普及が図られてきており、全市町村で保有しているため、飯山駅を中心としたエリアでの広域観光を推進し、市町村の枠を超えた商品開発を進めたい。									
指標	目的達成に向けた具体的な取り組み			単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察
	広域連携事業			回	2	2	100%	B	Eバイクを活用しながら広域連携したサイクリングツアーを2回実施。今後も広域のスケールメリットを活かした商品開発を進める
							#DIV/0!		
						#DIV/0!			
評価委員評価									
公共性	B	総合評価 (妥当性)	B	自転車の活用は重要、もっと広域的な取組みになるよう期待したい					
公平性	B								
有効性	B								
効率性	B								

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画				款	6 商工費	課・係名		
基本目標		農を基軸とした交流の村づくり	施策	滞在型観光の推進		項	1 商工費	産業課		
						目	2 商工振興費	商工観光係		
事業通番 39265	事業名	市民農園管理委託事業			予算額			決算額		
					当初予算額	増減額	予算現額			
	事業目的	グリーンシーズンにおける誘客事業の一つとして市民農園（調布市民）を開設し、農作物の栽培を通じた来訪機会を創出し、交流人口・関係人口の拡大を図る。			事業費	449	7	456	事業費	455
					財源内訳			財源内訳		
					国庫支出金		0	国庫支出金		
					県支出金		0	県支出金		
					地方債		0	地方債		
					その他（使用料）	375	▲ 55	320	その他	320
					一般財源	74	62	136	一般財源	135
事業の内容及び成果・今後の課題										
■ 事業内容及び成果										
内容		事業費（円）	説明・成果							
市民農園管理委託		426,000	・水田10区画、畑9区画を開設し農園管理や栽培指導など（一社）木島平村観光振興局へ委託 ・申込者17組と契約し、水田15区画、畑7区画を貸し付けた。							
市民農園農地借上料		29,020	・水田1,904㎡、畑788㎡の借り上げ							
合計		29,020								
■ 課題及び今後の取組										
水田については13組の参加をいただき田植え、草刈り、稲刈り作業を実施した。田の草刈り作業後に村の水源に関する講座を開催し、村の水の歴史について学ぶ良い機会となった。また、畑については3組が何度も来村し作業をしていた。今後、水田については来村回数を増やすような仕組みを作り、交流人口・関係人口の創出を図りたい。										
指標	目的達成に向けた具体的な取り組み			単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察	
	畑全区画契約			区画	9	8	89%	B	調布市民に対する農園として、交流人口・関係人口の創出を図るために開園し畑については既に関係人口は増となっており、さらなる増を目指す。	
	水田契約（区画なし）			組	13	9	69%			
						#DIV/0!				
評価委員評価										
公共性	C	総合評価 (妥当性)	C	参加者固定が見られる。民民交流への移行を検討されたい。						
公平性	C									
有効性	C									
効率性	C									

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画				款	6 商工費		課・係名		
基本目標		農を基軸とした交流の村づくり		施策	農村環境を活用した産業の創出			項	1 商工費		
								目	2 商工振興費		
事業通番	事業名	観光地域づくり推進事業				予算額			決算額		
40117						当初予算額	増減額	予算現額			
	事業目的	観光振興局の運営補助・体制強化支援を行う。				事業費	12,672	▲ 298	12,374	事業費	11,772
		財 源 内 訳	国庫支出金		0				財 源 内 訳	国庫支出金	
			県支出金		0					県支出金	
			地方債		0					地方債	
			その他		0					その他	
			一般財源	12,672	▲ 298	12,374				一般財源	11,772
事業の内容及び成果・今後の課題											
■ 事業内容及び成果											
内容		事業費（円）	説明・成果								
観光振興局補助金		6,000,000	・（一社）木島平村観光振興局運営補助金								
観光振興局事務局経費		5,771,814	・会計年度任用職員2人分給与、報酬 3,663,660円、手当 982,816円、共済組合負担金等 1,103,258円、その他経費 22,080円								
合計		11,771,814									
■ 課題及び今後の取組											
観光を活用して木島平村のファンを作り、交流人口・関係人口の創出を図り、ひいては移住定住につなげられるよう運営補助を行う。											
指標	目的達成に向けた具体的な取り組み			単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察		
	観光振興局新規会員獲得			数	10	4	40%	B	多業種の会員獲得を目指し宿泊業で2会員、建設業で1会員、販売業で1会員の計4会員の増加となった。WEBサイトやSNSを活用しながら誘客宣伝に努めた。		
	公式WEBサイト「めぐる木島平」の閲覧数増加（基準閲覧数10万回）			%	100,000	106759	107%				
評価委員評価											
公共性	B	総合評価 (妥当性)	B	観光施設民営化に伴い、観光振興局の事業内容等の再確認							
公平性	B										
有効性	B										
効率性	B										

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画				款	6 商工費	課・係名														
基本目標		農を基軸とした交流の村づくり	施策	農村環境を活用した産業の創出		項	1 商工費	産業課														
						目	2 商工振興費	商工観光係														
事業通番	事業名	地域活性化起業人・観光地域づくり			予算額			決算額														
41969					当初予算額	増減額	予算現額															
	事業目的	民間のスペシャリスト人材が民間企業で培った専門知識・業務経験・人脈・ノウハウを活用し、外部の視点、民間の経営感覚、スピード感を得ながら以下の目的を基本に業務を遂行する。 ◆地域の魅力を形にしてつなげて発信する ◆通年観光を推進する ◆交流人口、関係人口を拡大し移住定住につなげる			事業費	7,600	0	7,600	事業費	7,488												
					財源内訳				財源内訳													
					国庫支出金				国庫支出金													
					県支出金				県支出金													
					地方債				地方債													
					その他				その他													
					一般財源	7,600	0	7,600	一般財源	7,488												
事業の内容及び成果・今後の課題																						
■事業内容及び成果																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>事業費（円）</th> <th>説明・成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域活性化起業人委託料</td> <td>888,800</td> <td>・木島平村広報素材制作業務委託 888,800円</td> </tr> <tr> <td>地域活性化起業人負担金</td> <td>6,600,000</td> <td>・合同会社シュタインへの負担金（3/3年目）</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7,488,800</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											内容	事業費（円）	説明・成果	地域活性化起業人委託料	888,800	・木島平村広報素材制作業務委託 888,800円	地域活性化起業人負担金	6,600,000	・合同会社シュタインへの負担金（3/3年目）	合計	7,488,800	
内容	事業費（円）	説明・成果																				
地域活性化起業人委託料	888,800	・木島平村広報素材制作業務委託 888,800円																				
地域活性化起業人負担金	6,600,000	・合同会社シュタインへの負担金（3/3年目）																				
合計	7,488,800																					
■課題及び今後の取組																						
木島平村の観光に関わる統一コンセプトを「人づくり×里山」に基づき、村内の観光資源について情報収集を行い商品化に向け具体的な取組みを進めてきている。今後、この旅行商品の利用促進を図るため、より魅力化するとともに観光集客のための受入体制についても計画的に整備していく。																						
指標	目的達成に向けた具体的な取り組み			単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察													
	観光に関わる統一コンセプト策定			式	1	1	100%	B	協定期間の2/3年目となり、統一コンセプト作成及び、地域資源の商品化を進め「観光を活用した木島平村のファンを作り、交流人口・関係人口を創出し移住へつなげる」に向けた取組みを進める。													
	地域資源の発掘・コンテンツ化			式	1	1	100%															
	情報発信（WEBサイトリニューアル）			式	1	1	100%															
評価委員評価																						
公共性	B	総合評価 (妥当性)	C	期待している成果には届いていないのでは																		
公平性	C																					
有効性	C																					
効率性	C																					

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

第6次総合振興計画				款	6 商工費	課・係名		
基本目標		農を基軸とした交流の村づくり	施策	滞在型観光の推進	項	1 商工費	産業課 商工観光係	
				目	3 観光費			
事業通番 161301	事業名	誘客宣伝事業		予算額			決算額	
	事業目的	信越自然郷をはじめとした構成団体と連携した誘客事業の推進及び、観光情報誌を活用した誘客宣伝に努め木島平村の知名度向上を図る。 また、地域内経済の循環と集客強化のため地域団体等が提案する誘客イベント事業への支援を行う。		当初予算額	増減額	予算現額	事業費	2,699
		事業費	3,439	▲ 513	2,926	事業費	2,699	
		財源内訳	国庫支出金	0	0	財源内訳	国庫支出金	
			県支出金	0	0		県支出金	
			地方債	0	0		地方債	
			その他	0	0		その他	
		一般財源	3,439	▲ 513	2,926	一般財源	2,699	
事業の内容及び成果・今後の課題								
■ 事業内容及び成果								
内容		事業費（円）	説明・成果					
案内看板設置工事		142,780	・西町交差点冬季案内看板設置					
スキー大会補助		500,000	・木島平村長杯争奪木島平スキー選手権大会補助金（2/24～26：総エントリー329人）					
団体補助負担金		1,115,870	・遭対協木島平班補助金46,000円、飯山線沿線活性化協議会会費56,000円、上信越ふるさと街道協議会会費10,000円、信越自然郷飯山駅案内所負担金780,000円、信越9市町村広域連携会議負担金195,000円、自転車を活用したまちづくりを推進する全国市町村長の会年会費10,000円、その他団体負担金等18,870円					
広告掲載料		921,472	・飯山駅構内看板広告掲載料748,770円、「飯山線の旅」広告掲載料165,000円、チラシ発送7,702円					
使用料		3,000	・案内看板敷地料（桃寿司）					
消耗品等		16,518						
合計		2,699,640						
■ 課題及び今後の取組								
グリーンシーズンにおける誘客強化を図るため、飯山駅を中心とした広域観光の推進、情報発信力の強化、地域資源のコンテンツ化が重要と考える。								

指標	目的達成に向けた具体的な取り組み					単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察
	広告掲載料					件	2	2	100%	B	グリーンシーズンの誘客に向けた広告掲載を行い誘客宣伝に努めるとともに、スキー大会への補助を行い継続して開催できるようサポートを行った。
	イベント補助					件	1	1	100%		
									#DIV/0!		
公共性	B	総合評価 (妥当性)	C	先ずは、コロナ以前の事業が実施できるような内容にもどすことを目標に観光施設民営化に伴い、事業内容等の再確認							
公平性	B										
有効性	C										
効率性	B										

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画			款	6 商工費		課・係名			
基本目標		農を基軸とした交流の村づくり	施策	滞在型観光の推進	項	1 商工費		産業課			
					目	3 観光費		商工観光係			
事業通番	事業名	農村体験交流促進事業			予算額			決算額			
161302					当初予算額	増減額	予算現額				
	事業目的	姉妹都市調布市など友好交流都市との直接的な誘客事業を展開し、旅行者の拡大を図る。 ・深大寺お田植の儀、稲刈りの儀、調布市マルシェ、調布市商工まつり、調布市観光フェスティバル ・板橋区民祭り、板橋農業祭りほか			事業費	1,525	▲ 374	1,151	事業費	1,009	
			財源内訳		国庫支出金	0	0	0	財源内訳	国庫支出金	
					県支出金	0	0	0		県支出金	
					地方債	0	0	0		地方債	
					その他	0	0	0		その他	
					一般財源	1,525	▲ 374	1,151		一般財源	1,009
事業の内容及び成果・今後の課題											
■ 事業内容及び成果											
内容		事業費 (円)	説明・成果								
報償費		15,000	深大寺お田植の儀早乙女出演料								
旅費		279,900	交流都市イベント旅費								
需用費		397,362	記念品34,000円、燃料費78,909円、印刷製本費165,000円、土産代87,822円、消耗品31,631円								
役務費		109,302	チラシ折込料82,776円、クリーニング代26,526円								
使用料及び賃借料		206,950	会場使用料70,000円、レンタカー使用料136,950円								
合計		1,008,514									
■ 課題及び今後の取組											
姉妹都市、交流都市等への物販については、再開にあたり積極的に参加し誘客宣伝に務めた。交流先のイベントについては付き合いが薄れてきているものの、関係機関と連携した新たな情報発信を行い交流拡大を目指す。											

指標	目的達成に向けた具体的な取り組み					単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察	
		調布市誘客イベント					回	5	5	100%	B	2年ぶりのイベント参加となったが、関係団体と連携した誘客宣伝に努めた。今後も引き続き村の魅力や情報発信を行い、旅行者の拡大を目指す。
		交流都市流事業（板橋区）					回	2	2	100%		
										#DIV/0!		
評価委員評価												
	公共性	B	総合評価 (妥当性)	B	<p>まずは、コロナ以前の事業が実施できるような内容にもどすことを目標に コロナ経過により、事業内容等の精査必要</p>							
	公平性	B										
	有効性	B										
	効率性	B										